2019年5月28（火）			
差枚	-136枚	RANK	C

実戦機種

SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ、押忍！番長3、
A-SLOTツインエンジェルBREAK　ほか

実戦レポート

同じホールで繰り返し実戦することは、基本的にはプラス要素しかない。高設定投入パターンがだんだん分かってくることで、次回その店で打つ際の立ち回りに活かすことができるようになる。しかし、時にその経験値が仇となり、チャンスを逃すこともある…。

この日は、最初から波乱万丈の気配はあった。入場抽選の結果は早くもなく遅くもなく、といった位置だったが、これまでの設定投入パターンから予想される期待度の高い機種は、いつもどおり先頭グループにきっちりと抑えられていた。こうなると定番の「SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ」から始めるオレなのだが、なんと投資1Kでプレミアム BCを引き当て、ART開始画面は最高継続モードを示す天膳。いきなり大量リードを奪える展開かと思いきや、これがまさかの3連・350枚。まぁ、気を取り直して設定推測していこうと通常ゲームを進めると、設定3･5･6を予感させる「CZ当選→モード3移行」らしき挙動＋弱チェリーが雨あられの如く降り注ぐ。今日こそ、設定5･6か!?　…がしかし、その後周期抽選の連続ハズシが目立ちはじめ、いつものようにバジⅢに別れを告げることに。「いつものように」と言うんだったら、もう打たなければ良いだろう、というのは冒頭の「立ち回り論」からすると尤もだが、これは好きな機種なのでしょうがない。ただ、もう1回天膳スタートを引いて、また300枚で終わったのは痛かった…。

で、だ。その後も、シマ全体が元気よさそうに見えた番長3を打ったら、最初のボーナスがいきなり絶頂＋隣もすかさず絶頂で、設定5を強烈に意識させられたり、A-SLOTツインエンジェルBREAKを打ったら、特定ボーナスが出まくり＋設定2否定画面で設定5･6の期待が高まったり、その部分だけを見れば高設定の期待を持てるような展開が次々と押し寄せるのだが、「じゃあ粘ってみよう」と少し腰を据えると、そこからパタリと出玉の波が止まってしまうのだ。

こりゃあ、中間設定が多めに使われているパターンかな？　常連のお客さんたちも、「今日は設定4が多いっぽいですね～」と言っていたし、オレのバジⅢやツインもまさにそうかもしれない。番長3はたまたま絶頂だけ連続で引いてしまったのかな…？　そう自分を納得させて、なんだかんだで収支はほぼチャラで実戦を終えようとした時、完全にノーマークだった「パチスロ蒼天の拳 朋友」を打っていた知人から「設定6確定画面が出ました！」と報告が。え？　蒼天って、先月もオレが打って設定4以上が出たし、2台とも挙動が良かったハズだが…2か月連続で入れてきたのか!?　先月のことが無かったら、オレだって今日狙ったかもしれないのに！高設定に座れずマイナスの「C級」という結果以上に、精神的ショックは大きかったのでした。